

全世界の勤労者団結せよ！

金正日

チュチェ思想の旗印を高く掲げて
朝鮮式社会主義を固守し、
一層輝かせていこう

朝鮮労働党中央委員会の責任幹部への談話

1990年1月21日

朝鮮民主主義人民共和国

外国文出版社

2026

全世界の勤労者団結せよ！

金正日

チュチェ思想の旗印を高く掲げて
朝鮮式社会主義を固守し、
一層輝かせていこう

朝鮮労働党中央委員会の責任幹部への談話

1990年1月21日

朝鮮民主主義人民共和国

外国文出版社

2026

最近、東欧社会主義諸国が次々と崩壊し、ソ連でも次第に社会主義の旗が下ろされています。アメリカ帝国主義の反社会主義戦略に便乗した現代修正主義者の策動によって、ソ連が解体し、その存在を終える日も遠くないでしょう。社会主義の理念が初めて芽生え、共産主義という幽霊が徘徊していると宣言した『共産党宣言』が生まれたのもヨーロッパであり、世界で最初の社会主義国家が生まれたのもヨーロッパでした。ところが、今日では、そのヨーロッパで社会主義が挫折しています。

帝国主義者とその思想的代弁者らは、ヨーロッパ社会主義諸国で生じた事態に対し、あたかも資本主義が「勝利」し、社会主義が「終焉」を迎えたかのように喧伝しています。これは事態の真相を歪曲したことであり、人々の間で社会主義のイメージを損ない、資本主義の反動的本質を隠蔽し、彼らの反社会主義策動を正当化する詭弁にすぎません。ヨーロッパ諸国で社会主義が挫折したのは、社会主義の失敗でなく、社会主義を変質させた日和見主義の破産を意味します。帝国主義者と日和見主義者の策動のためヨーロッパ諸国では社会主義が崩壊していますが、わが国ではチュチェ思想の旗の下に社会主義が微動だにすることなく力強く発展しており、社会生活の各分野でその威力と生命力が高く発揮されています。

わが国の社会主義はヨーロッパ諸国の社会主義とは異なります。

わが国の社会主義は、チュチェ思想に基づく人民大衆中心の社会主義です。^{キムイルソン}金日成同志が創始したチュチェ思想は、われわれの時代の革命と建設の唯一の指導思想であり、無限の生命力を持っています。わが国の社会主義は、新しく独創的な革命思想であるチュチェ思想に基づいているため、他の社会主義とは区別されます。人民大衆があらゆるものの主人となり、全てが人民大衆に奉仕する社会であるというところにわが国の社会主義の本質的特徴があります。

わが国の社会主義は、その建設過程をみても東欧諸国の社会主義とは異なります。東欧諸国は、自国人民の意思に基づいて自らの方式で社会主義を建設したのではなく、ソ連人の援助を受けてソ連式に建設しましたが、われわれはわが人民の要求と意思に従ってわれわれの方式で建設しました。われわれはチュチェ思想を指導指針とし、党・軍・国家の建設から社会主義革命・社会主義建設に至るまで、全てをわれわれの方式で進め、革命と建設で生じる諸問題も全て自主的判断に基づいてわが国の実情とわが人民の利益に即してわれわれの方式で解決しました。東欧社会主義諸国は、ソ連を中心にして組織されたセフ（コメコン）に頼って経済を発展させましたが、わが国ではそうしませんでした。われわれは、自立的民族経済建設路線を打ち出し、経済をわれわれの方式で発展させました。以前、ソ連の人たちはわが国もセフに加入するよう強要しましたが、その時も金日成同志は、わが国は幼稚園児のようなもので、あなた方は大学生のようなものだ、それなのに、

どうしてわれわれがあなたたちとともにセフに加入できるのだろうかと言って、やんわりと断りました。われわれは革命と建設を進めるに当たって誰かの顔色をうかがったり、機嫌を取ったりしたことがなく、自分の言いたいことははっきり言い、自分のやりたいことは思い通りにやり遂げました。われわれは、われわれの思想、われわれの決心、われわれの趣向に合わせて全てのことを推し進めてきました。わが国の社会主義は、チュチェ思想の要求通りにわが人民が自分の意思に従って選択し、自力で打ち立てた朝鮮式社会主義です。わが人民は、わが国の社会主義を絶対的に支持しており、社会主義を自らの命のように大切にしています。わが国はチュチェ思想に基づいて朝鮮式社会主義を立派に建設したので、激変する今日の国際情勢の中でも微動だにせず、社会主義の道に沿って力強く前進しています。

社会主義は朝鮮人民の生命であり、朝鮮革命の旗印です。わが人民は他国の人々より社会主義のためにより多くの試練に耐え抜き、貴い血と汗を流しました。わが人民は、革命的情熱と創造的労働によって、長年にわたる立ち後れと貧困が続いていたこの地に誰もが安心して幸福に暮らせる社会主義楽園を建設し、人民大学習堂、平壤産院、人民文化宮殿と西海^{ソヘ}閘門などの記念碑的建造物をうち建てました。われわれは、社会主義の旗印を高く掲げて祖国と人民のために成し遂げた全てのことに對して当然の誇りと自負を抱くべきです。

今日、帝国主義者と反動派が社会主義へと進む人民の行く手を

阻もうと悪らつな策動を続けていますが、それは愚かなことです。社会主義へと進む人民の行く手を阻もうとするのは愚かな幻想にすぎません。歴史の流れは、個々の人の意思や欲望によって決まるのではなく、いかなる偶然の要因や出来事によって左右されるものでもありません。歴史はその主体である人民大衆によって前進し、人民大衆の自主的要求が実現する方向に進みます。社会主義は誰かによって考案されたものではなく、人民大衆が歴史の道を歩む中で自ら選択した理念です。社会主義は搾取と抑圧を知らず、誰もが等しく豊かに暮らしたいという人民大衆の念願を反映しています。人民大衆の念願と志向を実現する道は社会主義の道しかありません。社会主義が人民大衆の楽園であるならば、資本主義は人民大衆にとって墓場です。社会主義を放棄すると資本主義が復活します。社会主義は人民の志向であり、意志であるので必ず勝利します。社会主義は人民自身のものです。社会主義を否定するのは、人民大衆そのものを否定することにほかなりません。帝国主義者と反動派は、いかなる策動によっても社会主義へと進む人民の行く手を阻むことはできません。

社会主義は、人民大衆の自主性を実現するための最も正当な偉業であり、人民大衆の正義の偉業が必ず勝利するというのは歴史が実証した真理です。人類の未来は社会主義にあり、未来はわれわれのものです。われわれの未来は美しく、われわれの勝利は必然的なものです。今日、社会主義の偉業は試練をなめています、それはあくまでも一時的な曲折です。試練は一時的なもので、勝利は永遠です。

今、朝鮮革命の前途には重大な難関が横たわっています。帝国主義者と反動派は、ヨーロッパ諸国で社会主義が挫折することと時を同じくして、反社会主義策動の矛先をわが国に向けています。今日、われわれは全人類の運命を担っており、単独で帝国主義連合勢力と対峙しています。われわれの進む道は決して平坦ではありません。

世界的な政治的混乱の中でわれわれが人民大衆中心の朝鮮式社会主義を固守し、社会主義の偉業を力強く前進させるためには、難関と試練に打ち勝つ強い信念と意志を持って歴史の逆風に立ち向かわなければなりません。革命の道には厳しい試練もあり予想外の風波もありうるので、革命家は試練を乗り越え難関に打ち勝つことに慣れていなければなりません。強い信念と強靱な意志なしには厳しい試練と立ち上がる難関を切り抜けることも、革命の道をあくまで歩み続けることもできません。あまたの苦難と試練に耐え抜き勝利を達成するのが、われわれ革命家の誇らしい生き方です。苦みを知ってこそ甘みが分かるように、苦難と試練に耐え抜いて獲得した勝利こそ、革命家にとってはより貴く誇らしいものです。必勝の信念、必勝の意志、必勝の胆力を持つ人のみが革命の道でわが党と歩調を合わせることができ、党に従って90年代の壮大な進軍へ踏み出すことができます。ともに必勝の信念と強靱な革命的意志を持ってあらゆる難関と試練を勇敢に切り抜けることによって、われわれの社会主義を固守し、一層強化・発展させて、90年代の輝かしい新しい歴史を創造しなければなりません。

人民大衆中心の朝鮮式社会主義を固守し輝かせるためには、チュチェ思想の旗印を高く掲げてわれわれの方式で生きていかなければなりません。

人類の未来を代表して力強く発展していた社会主義が、現在ヨーロッパで挫折しているのは、東欧社会主義諸国の党が革命と建設で主体性を確立せず、ソ連に盲従したことに深く関係しています。以前、東欧社会主義諸国は革命と建設で主体性を確立せず、ソ連の指図に従い、ソ連の経験を機械的に取り入れました。そのため、ソ連が修正主義に走るとそれらの国も修正主義に走り、結局は革命を台無しにし、国を滅ぼしました。社会主義は自主であって従属ではありません。社会主義を建設するからといって、新しい形態の従属に陥って他国に束縛されて生きるようでは、革命を行う意味がありません。わが党は国際共産主義運動の過去の歴史を振り返り、全てをチュチェ思想の旗の下に、われわれの方式で進めるべきだという決心をさらに固め、その結果「われわれの方式で生きよう！」という戦略的スローガンを打ち出しました。このスローガンはわが党の信念のスローガンです。われわれの方式はかならずチュチェ式です。われわれの方式には人間中心の哲学が貫かれており、人民大衆中心の政治が具現されています。われわれの方式が一番です。世界のどこを見ても、われわれの方式より優れた方式はありません。われわれはいかなる狂風が吹き荒れようとも、チュチェ思想の旗印を高く掲げて、われわれの方式で生きていかなければなりません。

われわれの方式で生きるためには、朝鮮式の思想、朝鮮式の思考方式を身につけなければなりません。朝鮮式の思想観点は、事大主義と教条主義をはじめとするあらゆる古い思想と根本的に対立する自主的で革命的な思想観点です。朝鮮式の思想観点を確立するというのは、全てをチュチェ思想の要求通りに思考し判断し、全ての問題をわが国の実情とわが人民の要求に即して自力で解決していく観点を立てるということを意味します。われわれは、全ての党員と勤労者がチュチェ思想の原理とその具現であるわが党の路線と方針を深く体得し、朝鮮民族第一主義精神で武装することによって、朝鮮式の思想観点と朝鮮式の思考方式を身につけ、徹底的にわれわれの方式で生きようとしなければなりません。

社会主義を固守し輝かせ、社会主義の偉業を最後まで完成するためには、革命と建設で社会主義の原則を固守しなければなりません。

時代が進み、革命闘争の環境と条件が変化するにつれて、路線と政策を創造的に発展させるべきですが、いかなる場合にも革命的立場を捨てたり社会主義の原則から脱してはなりません。時代の変化を前にして革命的立場を捨て、社会主義の原則を放棄すれば、革命と建設を台無しにし、全てを失うことになります。社会主義の原則に反し、集団主義の原理に基づいている社会主義社会に個人主義の原理を取り入れるのは毒をあおるに等しいことです。社会主義は改良ではなく革命によって建設しなければなりません。われわれは、わが国を資本主義化しようとする策動が強化される

ほど、他国で「改革」「改編」の風が吹き荒れるほど、社会主義の原則をしっかり固守し、いささかも譲歩してはいけません。われわれは、いかなる環境と状況の下でも党を強化し、革命と建設に対する党の指導を確固と保障し、社会主義制度を固守し、絶えず強化・発展させなければなりません。われわれは、反帝闘争の旗印をさらに高く掲げて、帝国主義者の反社会主義策動を徹底的に粉碎しなければなりません。

党を組織面・思想面の両面から強化し、その指導的役割を高めるところに特に力を注がなければなりません。

党はわが人民の運命そのものであり、党の指導は社会主義の生命線です。今日、わが国では党が強く、全人民が党の周りに一心団結して党の指導に忠実に従っているので、ヨーロッパ社会主義諸国でのように「資本主義への平和的移行」がなく、社会主義が力強く発展しています。だからといって、党の強化をいささかもおろそかにしてはいけません。われわれは党を絶えず強化し、その指導的役割をさらに高めることによって、人民大衆中心の朝鮮式社会主義を固守し、金日成同志が切り開いたチュチェの革命偉業をあくまで完遂しなければなりません。

党員と勤労者の組織生活と思想教育を一層強化しなければなりません。

党員と勤労者の間で組織生活と思想教育を強化するのは、党を強化し、社会主義を固守するための重要な要求です。ヨーロッパ社会主義諸国は、党員と勤労者の間で組織生活と思想教育を強化

せず、資本主義思想を引き入れたため、党が崩壊し、社会主義が崩れました。社会主義を抹殺しようとする帝国主義者の策動が日増しにあらわになっている状況の下で、党員と勤労者の間で組織生活と思想教育を強化しなければ、党を強化することができないばかりか、血潮をもって獲得した革命の成果を守ることもできません。われわれは、党員と勤労者の間で組織生活と思想教育を一層強化して、全ての党員と勤労者が階級闘争の歴史的教訓を忘れず、帝国主義者の挑戦を粉碎しながら社会主義偉業の勝利をめざして最後まで闘っていくようにしなければなりません。

われわれの内部に資本主義的要素が浸透できる些細な隙も生じないようにすべきです。今、帝国主義者と反動派は社会主義の旗印を高く掲げて進む革命諸国に攻撃の矛先を向ける一方、人民の間に社会主義への信念を切り崩し、社会主義を内部から瓦解させようと悪らつに策動しています。もしわれわれが、資本主義的要素が浸透できる些細な隙でも許すならば、資本主義的要素が浸透して人々を変質させ、しまいには重大な結果を招くことになってしまいます。われわれは、資本主義的要素がわが内部に浸透するいかなる隙も許してはならず、そのような要素が現われれば、時を失せず強力な打撃を加えて粉碎しなければなりません。

金正日

チュチェ思想の旗印を高く掲げて
朝鮮式社会主義を固守し、
一層輝かせていこう

発行： 朝鮮民主主義人民共和国
外国文出版社

発行日： 2026年9月

No. 2681383



